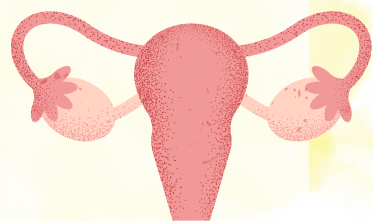


# 婦人科検診で 異常があった方



婦人科検診の異常は、子宮頸がん検査（子宮腔部細胞診）やエコー検査での異常がほとんどです。

ただし、「異常＝がん」ではありません。

子宮頸がんの前段階である「**子宮頸部異形成**」や腔炎などによる異常の場合もあります。

子宮頸がんの主な原因は**HPV（ヒトパピローマウイルス）**感染です。

HPVに感染した細胞が異型細胞になり、これが増えると**子宮頸部異形成（CIN1～3）**と呼ばれます。

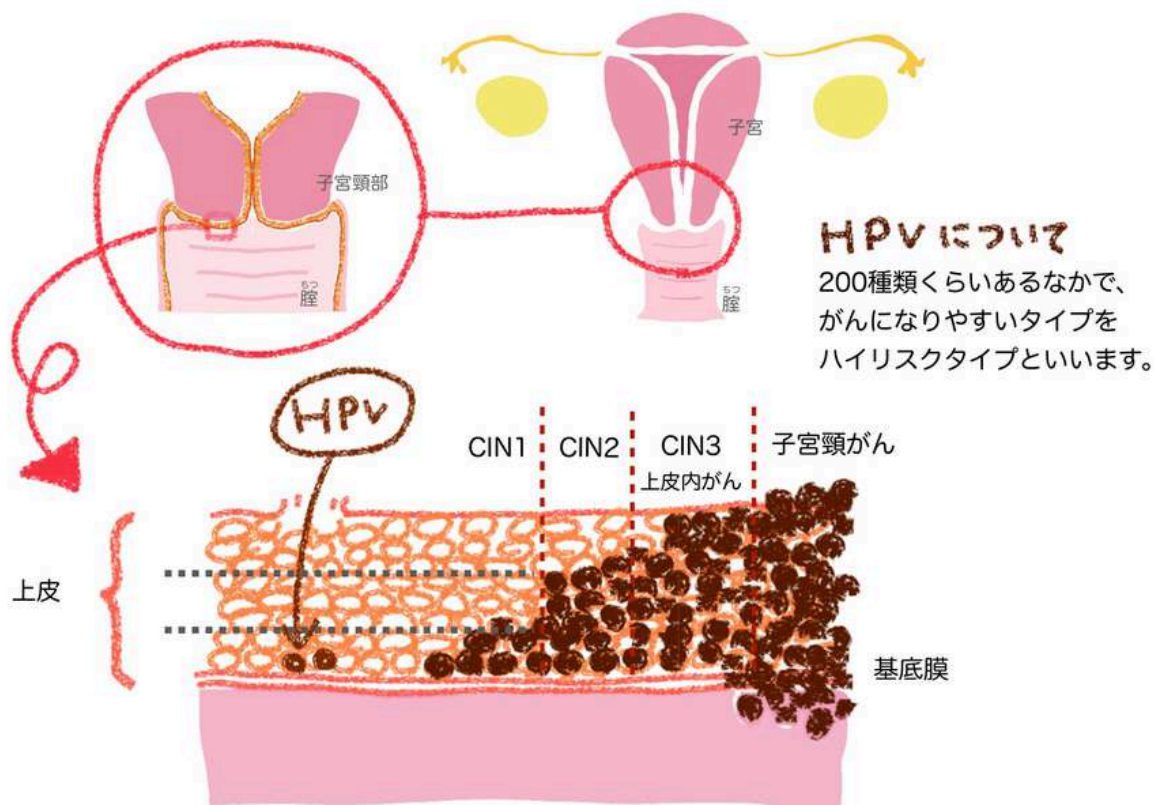
進行するとがんになるため、段階に合わせて経過観察や手術などの治療を行います。

HPVは性交渉で感染するため、性交渉前の**HPVワクチン接種**が推奨されています。

ご予約、お問い合わせ 水曜日を除く平日14～16時  
甲府共立病院 055-226-3131

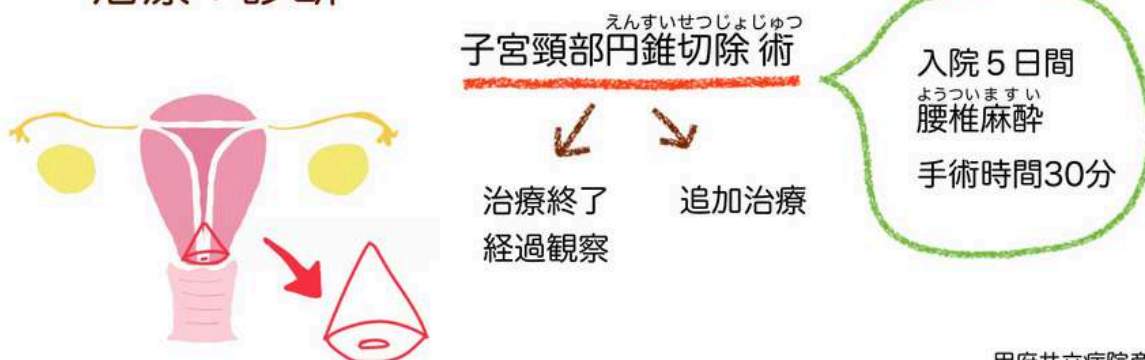
# 子宮頸部異形成について

子宮頸がんのほとんどは、HPV（ヒトパピローマウイルス）感染が原因です。HPVに感染した細胞が、異型細胞となり、これが増えた状態が子宮頸部異形成（CIN1-3）です。さらにすすむと子宮頸がんになります。



CIN1 軽度異形成	大部分は自然に治ります。
CIN2 中等度異形成	25%くらいは進行します。治療も考慮します。
CIN3 高度異形成	治療が必要です。

## 治療＋診断



甲府共立病院産婦人科  
2024.9 ver.

ご予約、お問い合わせ 水曜日を除く平日14～16時  
甲府共立病院 055-226-3131

# エコー検査で見つかる異常

- **卵巣腫瘍（らんそうしゅよう）**

卵巣にできる腫瘍のことで、婦人科検診や人間ドックで見つかることが多いです。

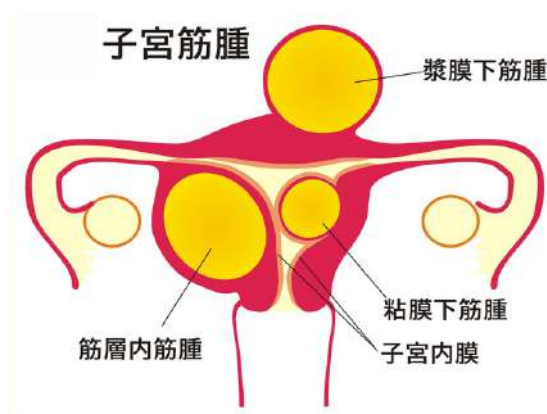
大きさや種類によって、手術やホルモン治療を相談します。

- **子宮筋腫・子宮腺筋症**

症状の有無や妊娠の希望に合わせて治療方針が変わります。

診察後にご希望を伺い、ホルモン治療や漢方治療を組み合わせで行います。

病変が大きい、また症状が強い場合は、手術治療も選択できます。



ご予約、お問い合わせ 水曜日を除く平日14～16時  
甲府共立病院 055-226-3131